

「地域環境共生圏と SDGs」

島田幸子氏（関東 EP0・関東 SD センター・関東パートナーシップ会議）

持続可能な開発目標（SDGs）とは

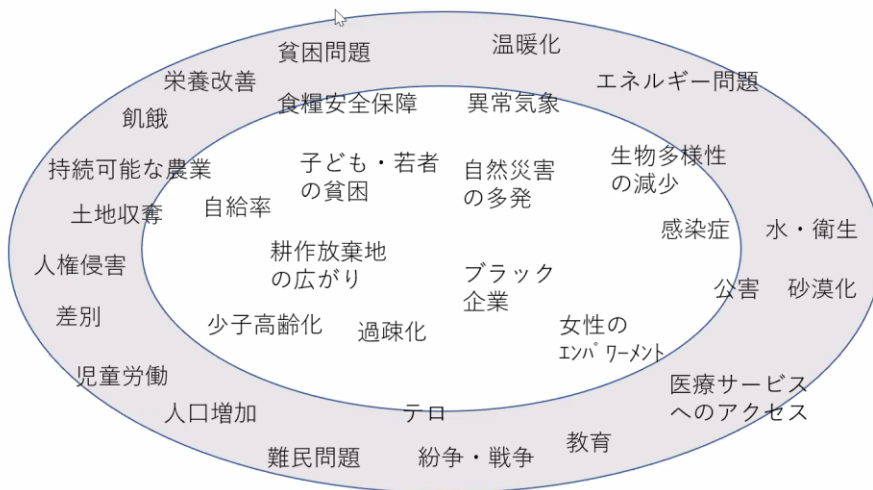
持続可能な開発目標（SDGs：エス・ディー・ジーズ）は、2015年9月25日の「国連持続可能な開発サミット」で採択され、2016年1月1日に発行された国際社会共通の目標です。SDGsは、気候変動や経済、貧困、教育など社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年を目指して明るい未来を作るための17のゴール（目標）と169のターゲット（取り組み・手段）で構成されています。SDGsの根幹にある「持続可能な開発」とは、「将来世代のニーズを損なわずに、現代世代のニーズを満たす開発」のことをいいます。

先進国も途上国も含む、全ての国に適用されるユニバーサル（普遍的）な目標であり、地球上の誰一人として取り残さないことを理念としています。気候変動や経済、貧困、格差など幅広い分野の課題解決を目指しています。「環境」、「経済」、「社会」の3つの側面のバランスが取れ、統合された形での達成を目指しています。

17のゴールのうち、少なくとも12が環境に関連しています。



地球規模課題の深刻化



CSOネットワーク事務局長・理事 黒田かをり氏作成 参考：「新CSR検定3級」オルタナ他

関東EPO
Environmental Partnership Office Kanto

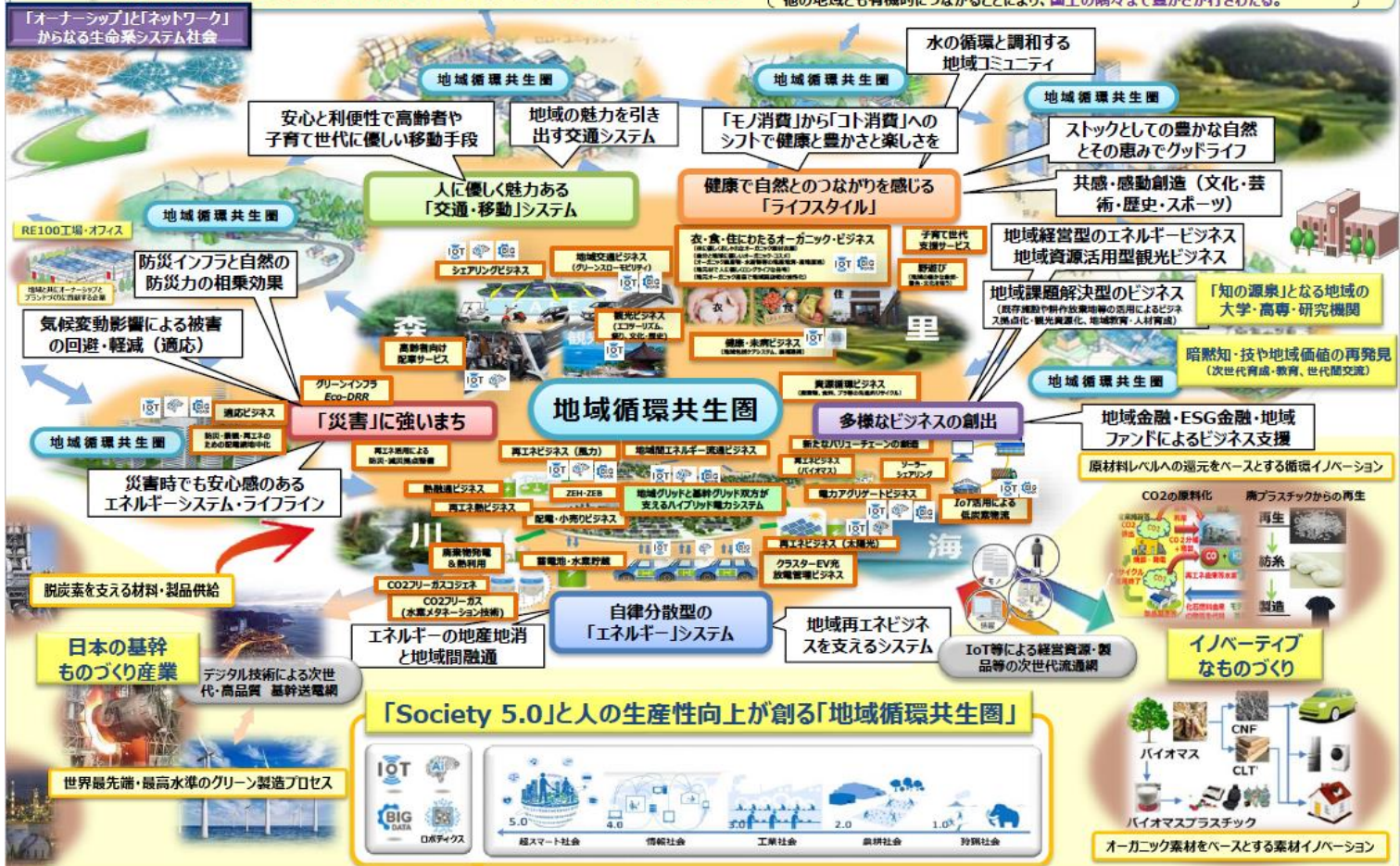
地域循環共生圏（日本発の脱炭素化・SDGs構想）

— サイバー空間とフィジカル空間の融合により、地域から人と自然のポテンシャルを引き出す生命系システム —

「自立分散」×「相互連携」×「循環・共生」= 活力あふれる「地域循環共生圏」 ⇒ 「脱炭素化・SDGsの実現、そして世界へ」
 「オーナーシップ」 「ネットワーク」 「サステナブル」 「人間の安全保障、次世代・女性のエンパワメントを基礎に」

⇒ 新たな価値とビジネスで成長を牽引する地域の存立基盤

人々が健康で活き活きと暮らし幸せを実感することで、地域が自立し誇りを持ちながらも、他の地域とも有機的につながることで、国土の隅々まで豊かさが行きわたる。



「Society 5.0」と人の生産性向上が創る「地域循環共生圏」

